

経済政策論 A

—経済政策論 A の概要—

山田知明

明治大学

2023 年度講義ガイダンス

経済政策論 A・B の範囲

- 経済政策論の範囲
 - 学問体系としての『経済政策論』とは？
 - 応用マクロ経済学、応用ミクロ経済学、公共経済学、財政学、金融論、国際金融・国際貿易、産業組織論、政治経済学 etc.
- 経済政策論の目的
 - 望ましい政策 (=最適政策) とは何か？
 - パレート改善：ミクロ経済学
 - 経済政策がいつ、だれにとって必要なのか？
 - 誰が便益を得て誰が損失を被るのか：一貫した理論が必要
- この講義のゴール
 - 現状把握 (統計データ・制度)
 - +
 - ミクロ・マクロ経済学に基づく理論的基礎

経済政策論 A・B の範囲 (続き)

- マクロ経済政策を中心に講義をする
 1. **経済政策論 A (短期)**：景気対策、財政・金融政策
 2. **経済政策論 B (長期)**：経済成長、社会保障制度、経済格差 etc
 - ミクロ経済政策の例 ⇒ 公共経済学、産業政策論
 - 必要な時に適宜、ミクロ経済政策にも言及予定
- この講義の特徴
 - 理論にウェイトを置く
 - (一応) 公務員試験の範囲にもなっている
 - ただし、公務員試験対策をするわけではない
 - 最先端の研究成果を可能な限り紹介する
 - 経済学は常に進化している

『経済政策論』の範囲 (続き)

- 理論的分析と実証的分析の両面からアプローチ
- **経済モデル**を理解する
 - モデルは現実の抽象化であり検証可能
 - 検証のためにはデータに関する理解が必要
- なぜ経済政策を学ぶ必要があるのか？
 1. 政策当局者にとっては実際的问题
 2. 我々の世界を理解するため
 3. 政策当局の意図及び間違いを理解するため

テキスト・参考文献

- マクロ経済学
 - 齊藤誠・岩本康志・太田聰一・柴田彰久『マクロ経済学』有斐閣
 - David Romer (2018) "Short-Run Fluctuations"
- リーディングリスト
 - https://tomoakiyamada.github.io/courses/economic_policy_a/
- 経済数学
 - 尾山大輔+安田洋祐『[改訂版] 経済学で出る数学』日本評論社

講義スライド

- スライドは Oh-o!Meiji から各自ダウンロード
 - オンラインの場合、講義動画アドレスも一緒に掲載

成績評価について

- **以下、シラバスに書いてある内容**
- 定期試験 (70%)
 - 人数に応じて期間内試験の可能性あり
- レポート (30%)
 - 講義でカバーできないトピックを自分で勉強してもらう
- 万が一、コロナ感染者数拡大で状況が変わった場合は上記の限りではない

数学的準備

- 出来ないことを大前提としています
- しかし、**理解しようとする努力は必要!**
- 数学を使うときには事前に説明します
 - グラフの読み方
 - 例：関数とは？

$$y = f(x)$$

- 若干の統計学に関する知識：平均、分散 etc.

経済政策論の目的

- 全ての人々が幸せになる経済政策はあるのか？
 - 最適政策を追求することは大事
 - 見つかったら「実行あるのみ!」
 - 意見の対立は生じない(はず)
- 残念ながらそうではない問題が多々ある
 - 例：社会保障における世代間の負担

経済政策論の目的 (続き)

- 経済政策を考える上で重要な軸・視点の例
 1. 市場と政府：資源配分機能と安定化機能 (経済政策論 A)
 2. 短期と長期：景気循環と経済成長 (経済政策論 A & B)
 3. 効率性と公平性：所得再分配機能 (経済政策論 B)
 4. 現役世代と将来世代：異時点間の資源配分 (経済政策論 B)

マクロ経済の安定化

短期 (Short-run)

- 景気の状態を微調整 (ファインチューニング)
 - 例：アベノミクス第 1 の矢&第 2 の矢
 - いわゆる”景気対策”
- 財政政策
 - 財政支出拡大で景気を刺激・回復 (ケインズ政策)
 - 総需要管理政策
 - 累積債務と財政の維持可能性
 - 消費税増税 etc.

マクロ経済の安定化 (続き)

- **金融政策**

- インフレ・デフレをコントロールして物価を安定
- 具体的に何をしているのか？
 - 金利/マネーサプライをコントロール
- 金融システムの安定化・監視
 - BIS 規制

- **財政・金融政策に関する最近の議論**

1. 将来の予想・期待の役割
2. 有効性を巡る議論
3. 質的・量的緩和政策とゼロ金利 (マイナス金利)

経済成長・経済発展

注意：経済政策論 B の内容です

長期 (Long-run)

- 「何故、我々はこんなに豊かで、彼らはそのように貧しいのか (Why some are so rich and some so poor) ?」
 1. 「体重を増やさないことに多額の金を費やす国」
 2. 「生きるために食べる国」
 3. 「次の食事がどこで手に入るかもわからない国」
 - D.S. ランデス (2000) 『強国論』 三笠書房

経済成長・経済発展 (続き)

- 経済成長のエンジンはなにか？
 - 資本蓄積：貯蓄及び投資
 - 人的資本：教育
 - 生産性：技術革新
- 経済成長を高めるための政策
 - インフラ整備、教育、R&D 投資、特許 etc.
 - 民主主義、投票制度、財産権 etc.
- 社会保障制度
 - 少子高齢社会に対応した各種政策
公的年金、健康保険、介護保険 etc
 - 家族の経済学
- 短期と長期の両面から経済政策を考える

経済政策に関わる経済学者達

- 大統領経済諮問会議
 - N.G. Mankiw, L. Summers, etc.
- 中央銀行
 - B. Bernanke (Chair), J. Yellen (Chair), M. King (BOE), N. Kocherlakota (Fed), C. Plosser (Fed), etc.
- 世界銀行、IMF
 - J. Stiglitz, O.J. Blanchard, R. Rajan, etc.
- Twitter 等の SNS で “本物の” 経済学者がどんなことを考えているのかを読むのも勉強になる
 - 例えば、Taisuke Nakata さん、Fuhito Kojima さん